

おおふな

2025年9月18日 No.11

発行者：森田隼士 編集：情宣部

JR東労組 大船支部

あなたはご存じですか?? 「望まぬ転勤」…



見直す企業

異動を発令されたものの、育児や介護等の事情からやむなく退職。このままでは大切な人材が流出してしまう—
そんな危機感から、「望まない転勤をなくしていこう」という動きが大企業などに広がりつつあります。労働者の
希望を尊重し、どう企業運営をしていくのか、いくつかの企業をご紹介します。

AIGグループ 「Work@Homebase」	全国を11カ所のエリアに分け、希望するエリア箇所へ配属、勤務できるよう会社が最大限配慮する。希望する地域に根付いたキャリア構築が可能。 <u>今後、全ての社員が「転居・転勤がない」「単身赴任がない」「社命異動がない」となる会社をめざしていく。</u> (現行では異動によりキャリアアップを積む形態も有)
ニトリ 「マイエリア制度」	就業する地域を一部に限定し、転居なく通勤が可能な制度。 入社から一定期間の経過した総合職社員が対象。現行は首都圏・関西圏エリアのみだが今後拡大予定。 <u>利用期間は制限がなくいつでも申請・解除が可能。</u> 報酬の減額や役職の制限も無い。
三井物産	<u>原則3年ごとに日本国内や海外への転勤を受け入れるか選ぶことができる。</u> <u>「転勤なし」を選んだ社員は原則的に採用地で勤務。</u> 「転勤あり」を選んだ社員は転勤による本人や家族への影響などを考慮し、転勤なしの社員より基本給などが高く設定される。
東京海上日動	2026年4月～新制度に。 「本拠地」を定め、ライフイベントなどに応じて本拠地からの <u>転居を伴う転勤に同意するか毎年選べるようになる。</u> (一度転居転勤した場合、原則3年間は赴任することを想定) 転居転勤が実現した社員に対しては「転居転勤サポート手当」が支給される。

現在、JR東日本においては「JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた新たな組織と働き方について」が提案され、本部・本社間において団体交渉も行われています。転勤(異動)は労働者にとっては働く環境も生活環境も変わる大きな変化ですが、この間本人希望やキャリアプランを無視し、職場現実などを顧みない一方的な異動発令が相次いでいます。安全で安心して働く職場環境をつくり出すために、現場から声をあげていくことが重要です。職場討議資料の読み合わせ等を通じて、職場議論を深めていきましょう!!

**安全で安心して働ける職場づくりと、年末手当満額
獲得に向けて、多くの仲間と支部集會に結集しよう!!**

2025年9月18日 No.11
発行：森田隼士 編集：情宣部
**おおふな JR東労組
大船支部**

支部集會(仮称)開催のお知らせ

とき **2025年11月4日(火)**
13:30~(13:15受付開始)

ところ **鎌倉芸術館 会議室1**
「大船」駅下車 徒歩10分

内容 ①JR東日本グループのさらなる飛躍に向けた
新たな組織と働き方について
②年末手当について
※内容は現時点での予定となり、追加や変更となる場合があります。

組合未加入の方の参加も大歓迎です!!

安全で安心して働ける職場づくりと、年末手当
満額獲得に向けて、多くの仲間と結集しよう!!